

かたくらじょうせきこうえん 片倉城跡公園



▲彫刻と散策路

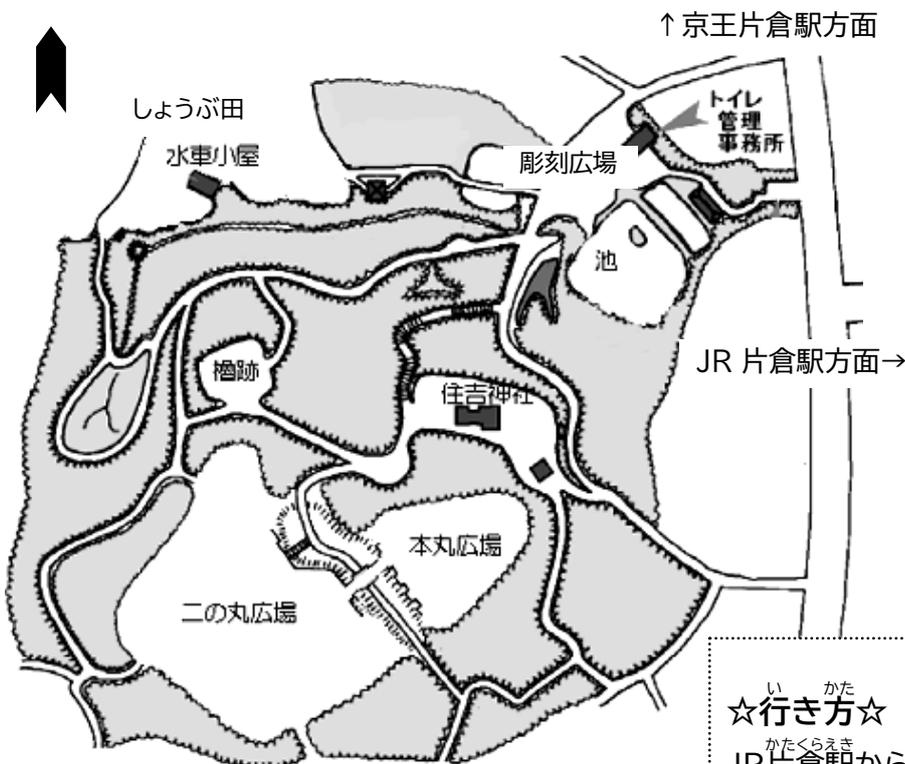
かたくらじょうせきこうえんは、しょうわ ねん かいえん ちゅうせい しるあと ゆた しぜんかんきょう のこ こうえん
片倉城跡公園は、昭和47年に開園した、中世の城跡と豊かな自然環境が残る公園です。
そうめんせき 57, 325㎡あり、しるあと ほんまる に まるひろば などの れきし しゅうへん ぞうきばやし わ みず
総面積57, 325㎡あり、城跡の本丸、二の丸広場などの歴史や、周辺の雑木林、湧き水や、
そうしゆん 早春のカタクリ、しよか 初夏のハナショウブといった季節の植物などの自然と、てがる つかあ
ことのできる公園になっています。へいせい ねん (2001年)にははちおうじはちじゅうはつがい せんてい
た。さっそく散策してみましよう。

かたくらじょうせき 片倉城跡

公園の大部分を占める片倉城跡は、湯殿川と兵衛川に挟まれた小高い丘を利用して造られた中世の城の跡です。鎌倉幕府(*1)初期の重臣(*2)大江広元(1148年~1225年)の子孫である長井氏が、500年ほど前の室町時代に築いたと言われてはいますが、はっきりしたことはわかっていません。長い間にいろいろ手が加えられていますが、15世紀後半ころの様子をよく残しています。平成11年(1999年)には東京都の指定史跡に選定されました。

中世の城は、江戸城や大阪城、姫路城などの現在よく知られている城と違って、石垣を造りません。自然の地形を利用して、空堀(*3)や土塁(*4)を築きます。片倉城跡は、中心部分の本丸と、二の丸、それを取り囲む堀や土塁が残っていて、小規模ながら中世の城の造り方をよく表しています。本丸と二の丸は、現在広場になっており、春には桜が楽しめます。

- *1 鎌倉幕府:1192年に朝廷から征夷大將軍に命じられた源頼朝が開いた武士の政權
- *2 重臣:主君に重く用いられる家来
- *3 空堀:水を溜めない、地面を掘り下げただけの堀
- *4 土塁:土を高く盛って敵の侵入を防ぐ施設



▲かたくらじょうせきこうえん ぎ
片倉城跡公園園 ぎ

☆行き方☆

JR片倉駅から北西に徒歩約6分
京王片倉駅から南に徒歩約10分
駐車場 22台分

すみよしじんじや 住吉神社

住吉神社は城跡の中、本丸の北東、鬼門の位置にあります。片倉城を造った長井氏、または長井氏の一族の毛利師親が、城の鬼門除け(*1)に建てたと伝えられています。嘉永4年(1851年)に片倉村の川幡元右衛門とその門人たちが「和算(*2)の実力がつきますように」と願いを込めて奉納した算額(*3)があることでも知られています。

- *1 鬼門除け: 鬼門には悪い鬼がいると考えられており、神様や仏様を祭って、悪い鬼の力をおさえて災難がおきないようにした
- *2 和算: 日本で独特に発達した数学。江戸時代に特に発達し、あちこちで和算を教える塾ができた
- *3 算額: 和算の問題と解いた答えを木の額にして、神社や寺に掲げたもの

ちようこくひろば 彫刻広場としょうぶ田

国道16号から入ってすぐの所に彫刻広場があります。広場の池には、カワセミヤカモが訪れて、来園する人の目を楽しませてくれます。また、長崎市の原爆落下中心地北側の丘にある「平和祈念像」の製作で有名な彫刻家の北村西望(1884年~1987年)や、西望賞(*)を獲得した彫刻家の作品など、19基が園路沿いに展示されています。広場の西側、川沿いの低いところには、崖から湧き出る清水を利用したしょうぶ田があります。5月下旬~6月上旬には、さまざまな色のハナショウブが咲いて目を楽しませてくれます。奥には平成15年に再建された水車小屋があります。

彫刻広場から、雑木林をぬけて本丸広場に向かう小道沿いは、四季折々の花が楽しめる散策コースにもなっています。北側斜面は、早春にうす紫色の花を咲かせるカタクリの群生地として知られ、ヤマブキソウやニリンソウなども群生して見られます。



- * 北村西望を記念して設けられた、優れた彫刻家に与えられる賞

▲カタクリの群生

しら 調べてみましょう

ひとつのテーマについて調べる時、何冊かの本を調べることは、とても大切なことです。次にあげる参考文献は、図書館にある本の中で、小・中学生のみなさんにもわかりやすいものです。自分で調べ、まとめてみましょう。市内のどの図書館に所蔵しているかは館内OPACで検索、または職員へおたずねください。

※☆印のついているものは、特に小学生におすすめのものです。

『日本城郭大系5 埼玉・東京』 柳田敏司・段木一行／編 1979年

八王子市内に残る城跡について詳細に説明されている本。内容はやや難しい。

『東京の湧水』 平松純宏／写真・文 1998年

東京都内の湧き水スポットを写真とともに紹介。片倉城跡公園のことも詳しい。

☆『多摩の古城址』 京王帝都電鉄／編 1995年

片倉城跡や八王子城跡など、多摩地域にある城跡を、写真も豊富にわかりやすく紹介している。

『多摩の古城址－城址・砦址・館址』 小幡晋／著 1978年

多摩地域に残る城跡を、歴史と現状をふまえて説明している。詳しく知りたい人向け。

☆『郷土みてある記』 八王子市生活文化部広報課／編 1995年

小学校の先生が、八王子の歴史や関係の深い人物、動植物、事柄を小学生にもわかるようにやさしく解説したもの。

『片倉物語』 川幡一郎／著 1981年

片倉町の歴史を片倉で生まれ育った人が詳しく書いている。片倉城跡のことも紹介。

『歴史と浪漫の散歩道』 八王子市教育委員会／編 2006年

八王子市内の文化財を地域ごとに紹介しているガイドブック。片倉城跡公園とその周辺の散策をしたい人におすすめ。

インターネット情報

「八王子市役所ホームページ(片倉城跡公園)」(最終確認日2022年8月3日)

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/109/p011931.html>

編集・発行

八王子市中央図書館

令和2年(2020年)7月

令和4年(2022年)9月 改訂